無報	鳴工業高等	<b>事</b> 門学校	開講年度 令和04年度 (2	2022年度) は	受業科目	化学 I B				
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		-044十1又)   1	x <del>*/</del> 17口	IO Д. П. D				
科目番号		0028		科目区分	一般 / 必修	ξ.				
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位:					
開設学科		一般科目		対象学年	2	1				
開設期		後期		週時間数	2					
教科書/教	数材	検定教科書 (第一学習 門用」(対	書「高等学校 改訂 化学基礎」, 「高等 習社), 参考書「フォトサイエンス化: 1.善出版)	. —		問題集「セミナー化学基礎+化学」 ) 子構造模型A型セット 有機化学入				
担当教員		小島広孝								
到達目	 標									
1 電子軸 2 有機 (	・ 軌道について 化合物につい	理解する。 こ理解する。 いて理解する。 としポートに								
ルーブ!										
<u>,, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの	りな到達レベルの目安 未到達レベル					
評価項目	l1		電子軌道について十分に理解して	電子軌道について基本を理解して		電子軌道について理解していない				
	11		いる。	いる。	t_LTM/77.1	o				
評価項目	12		有機化合物について十分に理解している。	有機化合物について基 ている。	本を埋解し	有機化合物について理解していな  い。				
評価項目3			高分子化合物について十分に理解 している。	高分子化合物について している。	基本を理解	高分子化合物について理解してい ない。				
  評価項目4 			正しく実験を行い,結果を適切にレポートにまとめることができる。	実験を行い, 結果をし とめることができる。	/ポートにま	実験を行い,結果をレポートにまとめることができない。				
学科の	到達目標項	頁目との関係 はいっこう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょ しょう かいしょ かいしょう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	 系							
			教育到達度目標 (D)							
教育方法			,							
授業の進め方・方法		・授業は計りできます。 では、	【授業方法】 ・授業は講義に一部演習を取り入れて行う。 ・スライドを用いて授業を行い,適宜教科書,参考書を参照する。 ・適宜授業後に確認テストを出題する。また,必要に応じてレポート課題を出す。 【学習方法】 ・板書を写すだけでなく,授業の内容をよく聞き,適宜メモを取ること。 ・確認テストを利用して講義内容を復習すること。 ・化学科目の内容は積み重ねであるため,もし分からないことがあれば放置せず,オンライン,オフラインを問わず質問すること。							
注意点		定期試験を	【成績の評価方法・評価基準】 定期試験を行う。時間は50分とする。試験(60%)と、その他レポート・確認テスト等(40%)から、総合的に成績を評価する。到達目標への到達度を評価基準とする。 【履修上の注意】 スライドの印刷物の配布は行わない。必要に応じて印刷し持参すること。 スライドを閲覧する目的に限り、タブレットやノートパソコン等の持ち込みを許可する。 課題は授業の復習を主な目的としているため、期限直前に提出することのないこと。 【教員の連絡先】 研究室 A棟2階(A-212) 内線電話 8940 e-mail: h.kojimaアットマークmaizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)							
注意点		【スス課 【アララ題 をイイは、員変での でする。 「一般である。」 「一般である。 「一般である。 「一般である。 「一般である。 「一般である。 「一般である。 「一般である。 「一般である。 「一般である。 「一般である。 「一般である。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一	到達目標への到達度を評価基準とす D注意】 D印刷物の配布は行わない。必要に応 E閲覧する目的に限り、タブレットや 後の復習を主な目的としているため、 連絡先】 A棟2階(A-212) 8940	じて印刷し持参すること ノートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること	こ。 5込みを許可? とのないこと。	<b>する。</b>				
	属性・履修	【履修上の スラライドを 課題 【教究電話 中の線電話 e-mail: h	到達目標への到達度を評価基準とす D注意】 D印刷物の配布は行わない。必要に応 E閲覧する目的に限り、タブレットや 後の復習を主な目的としているため、 連絡先】 A棟2階(A-212) 8940	じて印刷し持参すること ノートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること	こ。 5込みを許可? とのないこと。	<b>する。</b>				
授業の原	属性・履 <u>修</u> ティブラーニ	【履修上の スライイドを 課題 観真空 研線線電話 e-mail: h	到達目標への到達度を評価基準とす D注意】 D印刷物の配布は行わない。必要に応 E閲覧する目的に限り、タブレットや 後の復習を主な目的としているため、 連絡先】 A棟2階(A-212) 8940	じて印刷し持参すること ノートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること	こ。 5込みを許可? とのないこと。	<b>する</b> 。				
授業の原		【履修上の スライイドを 課題 観真空 研線線電話 e-mail: h	到達目標への到達度を評価基準とす。 D注意】 DI印刷物の配布は行わない。必要に応 定閲覧する目的に限り、タブレットや 後の復習を主な目的としているため、 基絡先】 A棟2階 (A-212) 8940  .kojimaアットマークmaizuru-ct.ac.	じて印刷し持参すること ノートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること jp (アットマークは@	こ。 5込みを許可? とのないこと。	: )				
授業の <u>原</u> □ アクラ	ティブラーニ	【履修上の スライイドを 課題 観真空 研線線電話 e-mail: h	到達目標への到達度を評価基準とす。 D注意】 DI印刷物の配布は行わない。必要に応 定閲覧する目的に限り、タブレットや 後の復習を主な目的としているため、 基絡先】 A棟2階 (A-212) 8940  .kojimaアットマークmaizuru-ct.ac.	じて印刷し持参すること ノートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること jp (アットマークは@	こ。 5込みを許可? とのないこと。	。)				
授業のII ] アクラ	ティブラーニ	【履修上の スラライドを 課題【教育室 「研線電話 e-mail: h	到達目標への到達度を評価基準とす。 D注意】 DI印刷物の配布は行わない。必要に応 定閲覧する目的に限り、タブレットや 後の復習を主な目的としているため、 基絡先】 A棟2階 (A-212) 8940  .kojimaアットマークmaizuru-ct.ac.	じて印刷し持参すること ノートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること jp (アットマークは@	こ。 5込みを許可? とのないこと。	。)				
授業のII ] アクラ	ティブラーニ	【履修上の スラライドを 課題 【教究電話 e-mail: h 多上の区分	到達目標への到達度を評価基準とす。  D注意】 DI印刷物の配布は行わない。必要に応 定閲覧する目的に限り,タブレットや 後の復習を主な目的としているため, 連絡先】	じて印刷し持参すること ノートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること jp (アットマークは@	こ。 5込みを許可す とのないこと。 に変えること	。)				
授業のII ] アクラ	ティブラーニ	【履修上の スララ規 【教究電話 内内線電話 h を上の区分	到達目標への到達度を評価基準とす。  D注意】 DI印刷物の配布は行わない。必要に応 定閲覧する目的に限り,タブレットや 後の復習を主な目的としているため, 基絡先】 A棟2階 (A-212) 8940  .kojimaアットマークmaizuru-ct.ac.	じて印刷し持参すること ノートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること jp (アットマークは@ □ 遠隔授業対応	こ。 5込みを許可す とのないこと。 に変えること	。)				
授業の <u>原</u> □ アクラ	ティブラーニ	【履修上の スス課題 教究電副: h を上の区分 こング	到達目標への到達度を評価基準とす。  ○注意】 ○印刷物の配布は行わない。必要に応 定閲覧する目的に限り,タブレットや ぎの復習を主な目的としているため,  連絡先】	じて印刷し持参すること ノートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること jp (アットマークは@ □ 遠隔授業対応	こ。 5込みを許可す とのないこと。 に変えること	。)				
授業の <u>原</u> □ アクラ	画	【履修上の スス課題	到達目標への到達度を評価基準とす。  D注意】 D印刷物の配布は行わない。必要に応 定閲覧する目的に限り,タブレットや ぎの復習を主な目的としているため, 種絡先】 A棟2階(A-212) 8940  .kojimaアットマークmaizuru-ct.ac.  □ ICT 利用  受業内容 シラバスの説明,原子軌道 分子軌道	じて印刷し持参すること ノートパソコン等の持た 期限直前に提出すること jp (アットマークは@ □ 遠隔授業対応 週ご 1 1	こ。 5込みを許可す とのないこと。 に変えること	。)				
授業の <u>原</u> □ アクラ	ティブラーニ	【履修上の スス課 教究電話 e-mail: h 多上の り 1週 2週 3週 4週	到達目標への到達度を評価基準とすり注意】 ○印刷物の配布は行わない。必要に応受閲覧する目的に限り、タブレットや ●の復習を主な目的としているため、 連絡先】  A棟2階 (A-212) 8940  .kojimaアットマークmaizuru-ct.ac.  □ ICT 利用  □ ICT 利用  □ ジー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	じて印刷し持参すること ブートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること jp (アットマークは@ □ 遠隔授業対応	こ。 5込みを許可す とのないこと。 に変えること	。)				
授業の原 □ アクラ 授業計画	画	【履修上の スス課 教究電話 e-mail: h 多上の区分 こ が	到達目標への到達度を評価基準とすの注意】 ○印刷物の配布は行わない。必要に応見閲覧する目的に限り、タブレットや意の復習を主な目的としているため、算経先】 A棟2階(A-212)8940.kojimaアットマークmaizuru-ct.ac. □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ ICT 利用	じて印刷し持参すること プートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること jp (アットマークは@ □ 遠隔授業対応 1 1 2 2 2 2	こ。 5込みを許可す とのないこと。 に変えること	。)				
授業の原 □ アクラ 授業計画	画	【 R R R R R R R R R R R R R R R R R R R	到達目標への到達度を評価基準とす  D注意】 D印刷物の配布は行わない。必要に応	じて印刷し持参すること ブートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること jp (アットマークは@ □ 遠隔授業対応	こ。 5込みを許可す とのないこと。 に変えること	。)				
授業の原 □ アクラ 授業計画	画	【 R A A A A A A A A A A A A A A A A A A	到達目標への到達度を評価基準とす。 ○注意】 ○印刷物の配布は行わない。必要に応 定閲覧する目的に限り、タブレットや 後の復習を主な目的としているため、 種絡先】	じて印刷し持参すること プートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること jp (アットマークは@   遺隔授業対応   週ご   1   1   2   2   2   2   2   2   2   2	こ。 5込みを許可す とのないこと。 に変えること	: )				
授業の原 □ アクラ 授業計画	画	【 R A A A A A A A A A A A A A A A A A A	到達目標への到達度を評価基準とす。 ○注意】 ○印刷物の配布は行わない。必要に応定閲覧する目的に限り、タブレットや その復習を主な目的としているため、 連絡先】	じて印刷し持参すること ノートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること jp (アットマークは@ □ 遠隔授業対応 □ 1 1 2 2 2 2 2	こ。 5込みを許可す とのないこと。 に変えること	: )				
授業の原	画	LOO   A   A   A   A   A   A   A   A   A	到達目標への到達度を評価基準とす。 ○注意】 ○印刷物の配布は行わない。必要に応 正閲覧する目的に限り、タブレットや ぎの復習を主な目的としているため、 連絡先】	じて印刷し持参すること プートパソコン等の持ち 期限直前に提出すること jp (アットマークは@   遺隔授業対応   週ご   1   1   2   2   2   2   2   2   2   2	こ。 5込みを許可す とのないこと。 に変えること	: )				

	12週		· ·	合成高分子化合物 1		1 3					
14週		13週 台		合成高分子化合物 2 ,高分子化合物と人間生活		3					
		<u> </u>	実験実習				4				
		実験レポート作成			4						
16週 期			(15 期末記	(15週目の後に期末試験を実施) 月末試験返却・到達度確認							
モデルコス	アカリキ	·그=	ラムの:	学習	内容と到達	目標					
分類			分野		学習内容	学習内容の到達目標	西 元			到達レベル	授業週
			化学(一	般)	化学(一般)	混合物の分離法にて 分離法を選択できる		分離操作を行う場合	、適切な	3	
					実験の基礎知識(安全防具の使用法、薬品、火気の取り扱い、整理整頓)を持っている。			3			
						事故への対処の方法(薬品の付着、引火、火傷、切り傷)を理解し、対応ができる。				3	
	自然科学		化学実験		化学実験	測定と測定値の取り扱いができる。				3	
其礎的能力						有効数字の概念・測定器具の精度が説明できる。				3	
全從可能力				験		レポート作成の手順を理解し、レポートを作成できる。				3	後15
						ガラス器具の取り扱いができる。			3	後14	
						基本的な実験器具に関して、目的に応じて選択し正しく使うことができる。				3	後14
					1 t	試薬の調製ができる。			3	後14	
						代表的な気体発生の実験ができる。			3	後14	
						代表的な無機化学反応により沈殿を作り、ろ過ができる。			3	後14	
評価割合											
試験発表			相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合	   <del> </del>			
総合評価割合	60			0		0	0	40	0	10	0
基礎的能力	60	60		0		0	0	40	0	10	0
専門的能力	0	0		0		0	0	0	0	0	
分野横断的能	<b>計</b> 0	0		0		0	0	0	0	0	